

## 議 事 録

年 月 日	令和5年2月 15 日 (水) 午後7時から午後8時 10 分まで
場 所	保健福祉センター 研修室
会 議 の 名 称	令和4年度第2回島田市健康づくり推進協議会
出 席 者	別紙1のとおり
要 旨	<p>開会の後、松永会長の進行により報告及び意見交換を行った。</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>① 健康管理部会について資料1をもとに事務局より報告 市の健康についてのデータの報告及び、市・県及び関係機関における取り組みを報告した。これに対し他の委員から取り組みの報告や意見交換を行った。</p> <p>② 歯科保健部会について資料2をもとに事務局より報告。 今年度の健康づくり課での事業報告や健康づくりと食育に関するアンケートの項目の協議や結果報告を行った。今後の取り組みについても報告した。</p> <p>③ こころの健康部会について資料3をもとに事務局より報告 島田市の特徴として、子ども若者が毎年重点項目にあがっている。各機関における取り組みについて報告された。</p> <p><b>【質疑】</b>特になし</p> <p>(2) アンケート調査結果について資料4 調査の速報値について説明。調査の概要の紹介、回収率に関しては現在集計中。</p> <p><b>【意見交換】</b> 委員から、それぞれの組織における健康増進に関する取り組みの報告をした。</p> <p><b>【事務局】</b> 来年度は計画策定の年であるため、本協議会の開催はなしになる。計画策定委員会を立ち上げるためそちらでまた協力いただくことがある。 議事の詳細は別紙参照。</p>

## (2) アンケート調査結果について 資料4

調査の速報値について説明。回収率は施設配付では8～9割、成人では45.7%と前回より約10%向上した。健康への関心は高まっていると感じる。

・高校生の女性でやせ傾向が増加している。一方、本人の認識はあまり変化がなく、痩せている認識があまりない。全国同様痩せ願望が島田市の未成年にも広がり始めている。

・朝食の摂取率はあまり変化がないが、小学生の孤食率が上がっている。

・主食、主菜、副菜をそろえる頻度がどの世代でも低下している。食事への関心は高齢者以外は課題が残る。

・食の安全に関して知識のある人の割合が減少している。

・食品ロスについては関心が高まっているが、食育については横ばい。

・運動習慣は成人は横ばい、ロコモの認知度は横ばい。

・歯間部清掃用器具についての認知度は高い。

・歯や口の健康についての意識は高い印象。

・お酒の消費量は全国的には劇的に高まった印象だが、市ではそれ程ではない。

・喫煙率が減少しているが、乳幼児の同居家庭での喫煙が増加している。加えて、職場での受動喫煙率も高い。

・ストレスの要因について、小中学生は以前より多岐に渡っている印象。

### 新しい調査項目について

・血圧測定の高頻度は月1回程度が多く、推奨されている毎日朝晩2回は普及していない。

・参考にしている栄養成分表示はエネルギーが最も多く、食塩は少ない。

・食事中はタブレットやスマホなどに触れないようにしている家庭が多い。

・飲酒が影響する病気について、急性アルコール中毒と肝硬変以外は認知度が低い。禁煙外来を受診する意向は非常に低い。

・こころの健康に関するサービスの認知度は低い。

### 【質疑応答】

廣住委員：高齢者の対象を65～74歳にしているのはなぜか。75歳以上の人の意見も聞くべきでは。

事務局：本来なら高齢者の年齢も年々高くなっているため、75歳以上の人も対象とすべきと考えている。今回は、現行計画の評価として前回調査と同じ対象としている。次回の計画の時には検討したい。

## (3) 第4次島田市健康増進計画・食育推進計画及び第2次島田市自殺対策計画策定について 資料5

計画の策定体制やスケジュール、追加したい項目について説明した。

### 3 意見交換

#### 【高木委員】

若い人でも血圧が高い人多い。若い人ほど健診結果を放置しがち。市のほうで健康づくりの啓蒙をして欲しい。川根地区では若い人の高血圧や糖尿病が多い。突然死もある。健康づくりの啓蒙が必要だと思う。

#### 【小川委員】

虫歯の子どもの率は幼稚園まではトップクラスに低く、中学3年になるとワースト2になっており、永久歯へのアプローチが必要に感じる。講演会をユーチューブ配信している。

#### 【浅野委員】

薬局自体の在り方として地域連携が求められている。健康サポートも薬局の仕事。調剤室に閉じこもるのではなく人と関わるようになっていく。薬をもらいに来るところから健康や介護相談にくるように敷居を下げていく。スタンプラリーも実施した。CKD患者サポートにより、副作用・費用軽減につながる。

#### 【酒井委員】

保健委員としては研修等を受け健康に対する知識はだいぶ高まった。それを高齢者へ広げていく手段などの工夫が必要。動画の視聴は難しかった。

#### 【大澤委員】

コロナ禍での食育活動が厳しかった。色々なことが緩和されてきているので今後また活動を広げていきたい。アンケート調査で「具たくさんしまだ汁」を作っている人が減少し残念だった。野菜の普及等で高血圧予防に努めていきたい。

#### 【北川委員】

スポーツを推進するために横の連携を推進していくべき。スポーツの集まりに保健委員を呼び、そこに保健師に30分程度健康の話をしてもらい、それを地域に広めていってもらおう。こういった横のつながりを大切にして健康づくりをしていきたい。成功した一例だと思う。

#### 【岩間委員】

コロナ関係のこと、食推・保健委員などの活動も行ってくれていると思うが、若い人に対し職域保健・産業保健など地域保健と連携してやっていって欲しい。

#### 【大塚委員】

お年寄りに動画を見ろなどやはり難しい。出前講座など保健委員にはやってもらい助かっている。塩分について気になっているところだが上手な塩分のとり方の話をしてもらえるとありがたい。

#### 【男城委員】

アンケート調査の質問項目、よくできていると思った。アンケートに回答するだけでなくそこで気づくことができる。気づきを促したこの調査で今後どのように変化していくかみていきたい。

#### 【鈴木委員】

歯については小川先生からも話が合ったところ。家庭教育学級で定期的に受診していくことを啓蒙していきたい。こころの健康について相談機関を知らないということがあった、中学校でもSOSの出し方を教えていく必要性を感じている。しなやかに生きていく必要性。

#### 【廣住委員】

要介護を受けていない人をサポートしている。232名を83名のサポーターで運営している。歯や食に関する研修会を実施し、それを利用者に広めていきたい。

**【亀山委員】**

健康診断を受けた人への助成を出したり、健康経営の普及活動をしている。来年度は、運動機会を設けるため、ウォークラリーなどを考えていきたい。

**【中野委員】**

市の総合計画の中で市民1スポーツを推進している。子どもからお年寄りまでの生涯スポーツの推進に取り組んでいる。

**【大畑委員】**

認定看護師 11 分野 15 人がいて、専門外来を設けたり地域での勉強会等に出かけている。その他、医師も出前講座等に出掛けている。

**【畑委員】**

減塩に関する取り組みなど新たな事業を展開している。これは、県のデータに基づくもの。様々な循環器疾患につながる高血圧、減塩に対してまずは取り組みをしている。動画配信についても課題はあるとご意見もあるため、検討していきたい。

**【畑中委員】**

身近な環境づくり、企業とのタイアップなど大切。近くのスーパーでの減塩の取り組み、商品の配置だけでも違ってくる。健康教育だけでなく、実際の活動はどのようにするかというところ。歯磨きの推進のために水道の数はあるか、など。

**【松永会長】**

皆様のご意見を明日の市民の健康づくりに役立てていきたいと思う。

**【事務局】**

来年度は計画策定の年であるため、本協議会の開催はなしになる。計画策定委員会を立ち上げるためそちらでまた協力いただくことがある。いただいた意見を計画に反映していく。